

工学部研究資料館の保守管理および公開について

－国指定重要文化財の保守管理と開放業務－

○中村秀二、倉田 大、白川武敏、清水久雄、平田正昭、廣田将輝、神之田信幸

機器製作技術系

1 はじめに

工学部研究資料館は、熊本高等工業学校の機械実験工場として明治41年に設置され、建物と館内に展示されている工作機械11台は、平成6年に国指定重要文化財の指定を受けた。当初は西側にボイラー室、蒸気機関室を設け、動力を供給し全ての工作機械を動かす構造になっていたが、現在は撤去され電動機による駆動を行なっている。建物は、実用性と装飾的要素を備えた美しさがあり、全国でも数少ない大変貴重な近代的建築物である。平成19年には日本機械学会より工学部研究資料館および重要文化財工作機械（11台）に新たに2台の工作機械を加えた13台が「機械遺産」として認定された。

2 工学部研究資料館工作機械群の機械遺産認定について

2.1 機械遺産とは

機械遺産とは2007年に日本機械学会創立110周年記念事業により設けられた制度であり、歴史に残る機械技術関連遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝えることを目的に、日本の機械技術発展において強い影響を与えた機械・機器・機械関連システム・施設・設計仕様書・教科書などを対象に与えられる。また、所有などの継続ができなくなった場合に、処分や散逸を防ぐために他機関などへの移管の仲介などを行い、認定機械を保存する制度である。

2.2 工学部研究資料館の歴史 - 機械遺産認定まで -

明治30年(1897)に設置された第五高等学校工学部より熊本高等工業学校が明治39年(1906)に独立し、明治41年(1908)12月熊本高等工業学校機械実験工場として竣工された。その後、施設は熊本大学に引き継がれ、新しい実習工場（中央工場）ができる昭和47年(1972)までの約60年間、実験工場として研究支援や学生指導などに用いられてきた。



昭和52年(1977)に熊本大学工学部80周年記念事業で、工学部研究資料館として創設され、平成6年に建物と工作機械群11台が重要文化財として指定された。平成9年(1997)、熊本大学工学部100周年記念事業の一環として、これまで稼動していた3台の機械以外8台の動態保存化を進め、平成11年(1999)国指定重要文化財工作機械11台全てが動態保存となった。平成18年(2007)日本機械学会より、工学部研究資料館および館内工作機械群13台(重要文化財11台含む)が機械遺産に認定された。

2.3 今後の工学部研究資料館の役割

工学部研究資料館の役割としては、機械遺産の認定条件にもあるように「歴史に残る機械技術関連遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝えること」を使命とし、多くの方々に工作機械の歴史および本学の歴史を伝えていくことが肝要と考える。工学部研究資料館には定期公開を含め、機会遺産の認定、新聞やテレビなどの報道により、他大学、研究機関等および国内外より多数の来館者がある。また、秋には本館建物の空間を活かした一般公開の音楽コンサートを開催し、工学部の恒例行事にもなりつつある。このように研究資料館の役目は大学教育だけではなく、様々な分野に関しても活用し、貢献している。表1に24年度の工学部研究資料館の行事内容および来館者数を示す。

表1 工学部研究資料館(重要文化財工作機械)の公開および来館者数

公開日	行事内容	来館者数(名)
平成24年 5月 18日	機械科卒業生(S 23・39・49年)	5
平成24年 7月 4日	文部科学省	2
平成24年 7月 19日	新モンゴル高等学校校長外	5
平成24年 7月 29日	夏休み自由研究相談会	72
平成24年 7月 31日	熊本大学文学部授業(中川教授)	9
平成24年 8月 10日	研究室公開	650
平成24年 9月 13日	九州地区国立大学法人技術専門職員研修	19
平成24年 9月 27日	博物館実習	25
平成24年 10月 13日	熊本大学建築科クラス会	21
平成24年 10月 23日	建築系・機械系見学	32
平成24年 11月 3日	夢科学探検 2012	687
平成24年 11月 3日	ホームカミングデイ	11
平成24年 11月 8日	S 30年機械科卒業	4
平成24年 11月 9日	三大学ワークショップ	30
平成24年 11月 9日	秋の夕暮れコンサート	115
平成24年 11月 17日	日本機械学会「熱工学コンファレンス 2012」	71
平成24年 12月 27日	韓国海洋大学校	23
平成25年 1月 29日	文部科学省および熊本県庁職員	5
平成25年 3月 4日	IES2013 国際工学シンポジウム	94
平成24年 4月～平成25年 3月	定期公開来館者(毎月第3金曜日)	305
平成24年 4月～平成25年 3月	その他の来館者	73
合計		2,258

3 おわりに

工学部研究資料館は、年間行事・開放依頼時および毎月第3金曜日に定期公開を行っている。また、研究資料館は定期的な保守を実施し、重要文化財工作機械については、技術部(機器製作技術系)の技術職員により毎月メンテナンスを行なっている。この歴史ある貴重な建物および工作機械群を学生や一般の多くの方々に実際に動く状態で見学していただき、機械産業の原点を感じていただければ幸いである。

各種連絡先

工学部研究資料館に関すること

熊本大学工学部 建築工学科教授 伊東 龍一 館長 Tel 096-342-3554

工学部研究資料館内工作機械および動態修復に関すること

熊本大学工学部 技術部 機器製作技術系 中村 秀二 Tel 096-342-3779

工学部研究資料館の見学に関すること

〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2丁目39-1 自然科学系事務ユニット 総務担当 Tel 096-342-3513